

仁尾中の名前を背負うことに誇りをもって、さあ総体へ…

今週末の6月29日(土)から、下記の日程でいよいよ地区総体がスタートします。

競技名	日程・会場	総体の目標
バレーボール	7/6・7 三豊中学校体育館	県総体出場
男子ソフトテニス	7/6・13 観音寺市総合運動公園	団体県総体ベスト8
女子ソフトテニス	7/6・13 山本ふれあい公園	団体四国総体出場
卓球	7/6・7 三豊市総合体育館	団体・個人県総体出場
野球	6/29、30、7/6 観音寺市総合運動公園	県総体出場
新体操	7/6 中部中学校体育館	ノーミスで演技し、県総体出場
陸上	6/8 地区総体は終了	全員が自己ベスト、県総体出場

保護者の皆様には、会場への送迎、応援、昼食の準備など、色々な面でご協力をいただかなければなりません。どうぞよろしくお願いいたします。

スラムダンクという漫画に登場する山王工業のモデルになった秋田県能代工業バスケットボール部。そのチームを率いて、33回全国優勝させた加藤廣志先生(故人)という方がおられます。その先生が著書のなかで、監督として一番辛い場面は大会前のメンバー発表の時だとしています。それは3年間同じ苦勞をしながら、中には一度もユニフォームを着ることなく卒業していく生徒たちがいるからです。ある年は、春の大会で全国優勝メンバーに入りながら、夏のインターハイメンバーから外れた生徒が3名いました。気落ちしている彼らに「去年もおとしも、メンバーから外れた3年生は学校に残ったから」と伝えると、彼らは「分かりました。留守は守りますので、しっかりやってきてください」と逆に激励してくれたそうです。また、ある年には、いつまでもメンバーに入れない息子に、父親が「それだけしていてユニフォームももらえないのか?」と言ったところ、息子は「自分は一番早く練習に行き、最後まで練習している。能代が勝っているのは自分がいるからだ」と答えたそうです。こんな生徒たちに支えられてきたからこそ、自分はバスケットボールを続けてこられたと綴っておられます。



本校は部員数が少なく、試合に出られない苦勞はあっても、ユニフォームがもらえない苦勞はあまりないかもしれません。しかし、学校名が入ったユニフォームには、頑張った思いや活躍した喜びとともに、試合に出られなかったり、ユニフォームがもらえなかったりした先輩たちの苦勞や涙もしみ込んでいます。その思いを胸に秘め、仁尾中学校のそれぞれの競技の代表として恥ずかしくない態度で、それぞれの学年における集大成の試合に精一杯頑張ってくれることを願っています。

確かな学力

既にHPでもお知らせしましたが、12日に1回目の校内研究授業を行いました。当日は5名の先生が授業を披露しました。本校は「深い学び」を追究するうえで、「課題設定」「対話活動」「振り返り」を3本柱とする仁尾中授業デザインを有効活用しながら授業研究を進めることにしています。今回の授業では、それぞれの先生方の工夫が盛り込まれた授業が展開されるとともに、授業後は討議会を行って研鑽を深めました。



豊かな心

期末テストの発表前に両小学校と協力して、能登半島に送るメッセージ入り土のう袋を作成しました。今年度2回目の活動には、10名が参加しました。今回は寄せ書き式にするなど、多くのメッセージを届ける工夫が見られました。23日に石川県輪島市のボランティアセンターに届ける予定でしたが、大雨のためボランティア活動が中止になったので、別の便を利用して届けてもらいました。

